

加藤もとあき

県議会
レポート
Vol.5



～豊かな県政、夢と希望の沼津～

新型コロナウイルスに打ち勝つ!

山梨県 長崎知事&静岡県 川勝知事が 沼津市内浦「いけすや」で会談(6/15)



地元県議として同席しました。静岡と山梨で互いの県産品を購入して、コロナで減少した消費の拡大につなげる「パイふじのくに」推進の一環(パイ=英語の「購入する」という意味)。

川勝知事は5月末に山梨県南アルプス市のサクラノ園を訪れて長崎知事と会談しており、今回の長崎知事の訪問はその返礼。自慢の「アジ井&アジフライ」でお腹を満たした後、長崎知事は土産コーナーでアジフライや干物セット合計約35万円以上を購入、「パイふじのくに」をPRして頂きました。

今後の具体的な施策展開として、山梨県と連携して特産品の詰合せ宅配の実施、スーパーでの県産品コーナー設置を推進していきます。



1 2020年6～7月定例県議会 コロナ対策等834億円を可決!

今年に入り本格的な拡大となった新型コロナウイルス感染症～県内感染者数は全国的には少ないものの、私たちの生活に甚大な影響と被害をもたらしており、未だ終息の見通しは立ちません。県議会では、これに呼応し、4月以降毎月補正予算を編成してコロナ対策を実施、6～7月議会では更に計818億円を可決しました(補正予算全体は834億円)。

その内容は、当初の感染症蔓延を防ぐための医療現場等の対策費用に加え、落ち込んだ経済を立ち直させる経済支援も注力しています。

また、任期1年の常任委員会の改選も行われ、私は昨年度の総務委員会から経済産業部を所管する産業委員会の所属へ。今後、県内経済の根幹を成す施策展開について積極的に発言、提案し、県民の皆様の安定した生活の構築に尽力して参ります。



▲県議会 産業委員会での質問風景

2020年6～7月議会補正予算の主な事業内容

経済支援注目事業

☆首都圏への出荷激減で苦境の県内高級水産物 沼津産(養殖)のマダイ&アジ、うなぎ、ニジマスを小中学校の給食に提供(予算額2億2千万円)。
同様に、**県内ブランド和牛も給食に提供**(9億6千万円)。



▲沼津産アジフライが給食に

☆中小企業のコロナ対応新事業チャレンジ支援 (4億円)

IT活用、非接触、遠隔のビジネスモデルやデジタル化の推進および新たにマスク、防護服、消毒液の生産設備導入支援⇒既に公募で230件の提案有。飲食、サービス業のオンラインサイト新規立上げ多い傾向。

☆テレワーク導入へのデジタル技術習得のためのIT訓練事業 (450万円)

一躍脚光を浴びたテレワークの技術講習で全4回、東中西3会場(東部は沼津)で実施。

その他主要事業

新型コロナウイルス感染症対策

- ☆ 医療体制の強化、検査体制の整備（90.8億円）
 - 軽症者受入れ民間施設の借上げ、**医療従事者への慰労金支給5～20万円/1人**
 - 地域外来・検査センターの運営委託、PCR検査の実施
- ☆ 病床確保（含、空床補償）、院内感染防止等の支援（246億円）
- ☆ 衛生資材の購入と医療・福祉施設への提供（24.2億円）
 - 消毒用エタノール、マスク等衛生用品を県内1万5千の医療、高齢者、障がい者施設へ配布
- ☆ 福祉サービス事業所の感染症対策を支援（159.4億円）
 - 対策物品購入、施設内整備、利用者調査、**職員への慰労金支給5～20万円/1人**



教育関係支援

- ☆ 幼稚園への衛生用品整備に補助（県内347園に1園50万円、1.7億円）
- ☆ 小中学校への学習支援員の追加配置（県内487校へ、8.5億円）

経済、事業者支援

- ☆ 資金繰り悪化の中小企業への追加金融支援（県利子負担等133.9億円）
 - 融資枠の追加拡大：4800億円⇒1兆4530億円へ
- ☆ 県内観光の宿泊と周遊の促進（12億円）
 - 宿泊者に対する県産品購入クーポンの配布、宿泊費の助成
- ☆ 県産品の山梨県と連携した販売促進（3千万円）
 - 山梨県と連携し特産品詰合せ宅配、スーパー県産品コーナー設置
- ☆ 食品の国産志向や家庭食増加への農産品供給量増加に向けた体制整備助成（1.8億円）
- ☆ 医療機器基盤強化事業：命を守る医薬、医療機器、検査キット等開発製造補助（2.1億円）

県、連泊費5万泊分助成

6月補正12億円 Go Toキャンペーン運動

観光需要を喚起

静岡県は、観光需要の喚起と観光客の受け入れを促進するため、6月補正予算で、県内観光の宿泊と周遊の促進に12億円を計上した。これは、県内観光の宿泊と周遊の促進に12億円を計上した。これは、県内観光の宿泊と周遊の促進に12億円を計上した。

2 企業&働く皆様へ～新型コロナウイルスに係る緊急支援策一覧について

新型コロナウイルスに対する支援等にどんなものがあるのか、また、内容がわかりにくいという声を多く頂きます。静岡県経済産業部が国制度他を含めた各種支援策を一覧にまとめています。詳細は、経済産業部ホームページをご参照ください！

<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/cv010/cv-panf.html>





静岡県経済産業部

企業の皆様、働く皆様へ
新型コロナウイルス感染症に係る緊急支援策

資金繰り支援

雇用の維持

感染症拡大防止対策と社会経済活動の両立

3 「新型コロナウイルスに打ち勝つ静岡県民支え合い基金」寄付のご協力を！

5月臨時議会では、議員発議で「新型コロナウイルスに打ち勝つ静岡県民支え合い基金」を創設。コロナ感染症の医療従事者への危険手当支給や、高齢者・障がい者施設等従事者への支援のために3億円を目標としました。

この財源として、県議会議員の今年度の報酬および政務活動費の1割をカット、視察研修等取り止めなどにより1億2700万円を捻出し、残りの1億7300万円分を県民の皆様へ寄付を呼び掛けています。

この苦境をみんなで支え合い、一緒に乗り越えるために、寄付へのご協力をお願い致します！

⇒7月9日現在 2億9551万円(500件)まで来ました！ 更なるご協力をお願いします！



～One for all, All for one～

この苦境をみんなで支え合い、一緒に乗り越えるため、**寄附へのご協力をお願いします！**

静岡県は、新型コロナウイルス感染症の最前線で活躍されている医療従事者の皆様や、高齢者・障害者福祉施設等の従事者の皆様などへの支援のため「新型コロナウイルスに打ち勝つ静岡県民支え合い基金」を創設し、ふるさと納税制度等を活用して寄附金を募集します。



～県議会議員として日々様々な活動に邁進していますが、その中から抜粋してご紹介します～

※詳しくはブログ、フェイスブックをご覧ください。

(1) 静岡県地震防災センターがリニューアルオープン!

コロナ感染症の影響で4月のリニューアルオープンを6月に遅らせた静岡県地震防災センター(静岡市葵区)を同僚県議と訪問、元県危機管理監を務めた外岡所長にご案内頂きました。30年ぶりのリニューアルということで、情報のアップデートや、わかりやすい展示に向けての最新IT技術の導入などにより、大変興味深い内容となっています。費用は建物のメンテナンスと展示リニューアル半々で計11億円ほど。特に、震度7までの地震が体験できる起震コーナーは、南海トラフ大地震の想定波動や、阪神淡路震災の直下型、東日本大震災の広域型など実際の揺れを体験できます。この他、富士山噴火でのマグマ流失のシミュレーションもあります。

入場無料ですので、是非見学を。

静岡市葵区駒形通5-9-1 ☎054-251-7100
開館9時～16時・月曜休館



(2) 東洋電産株式会社 独自開発の災害用大容量の発電&電源車を視察 沼津

静岡県東部危機管理監、沼津市危機管理課と共に沼津市内の東洋電産株式会社を訪問し、独自開発の災害用大容量の発電&電源車を視察。車両タンク燃料を使用し、1時間当たり4リットルの燃料消費で45KW発電＝一般家庭の10軒分/日に相当。このレベルの性能は全国的にも類を見ないとのことですが、一方で他府県では採用実績があるものの、県内自治体では未納入とのことから、今後、地元沼津市はもとより、県内各市町でも採用頂きたいものです。

なお、東洋電産では、その先端技術を活用してEV(電気自動車)レースにも参戦。コロナ後の経済V字回復に向けて、このようなチャレンジングな企業を応援していきます。



(3) 静岡県東部発達障害者支援センター「アスタ」がスタート! 沼津

4月より開設となった「アスタ」を訪問。同種センターは発達障害者支援法に基づき県内4か所に設置。年々、増加傾向にある発達障害児の相談体制の充実が求められていましたが、今般、運営を県がNPO法人自閉症eスタイルジャパンに委託して東部地域でもスタートしました。

スタッフは、医師であり長年の経験を有する岡田センター長はじめ、専門相談員6名などで構成され、特別支援学校や医療機関とのネットワークも構築されています。

岡田センター長との懇談の中で、今後の課題として、東部地域における発達障害の専門分野での医師養成と、その充足が必要であることを認識。県としての医療体制構築の中で検討を要望していきます。

沼津市上土町3番地 沼津トラストビル2階
☎055-957-9090【受付時間】 平日9時～17時



静岡県東部発達障害者支援センター「アスタ」

(4) 沼津産の蕎麦栽培に期待大! 沼津

～耕作放棄地対策の一環～

沼津市浮島の休耕田を活用し、そばの実の栽培が昨年より試験的に行われていますが、5月には花が満開状態になり、6月には収穫が完了して現在は乾燥中!

沼津での蕎麦栽培はこれまで前例が無いものの、沼津産の蕎麦が出来るなら市内の蕎麦屋さんでも使いたいとの声もあり、若手実業家が挑戦中です。

是非、品質面を含み栽培に成功して頂き、沼津産蕎麦を食べられる様になることを期待! 美味しい蕎麦が出来たら、県庁の食堂でも使ってもらおうと思います!?



(5) 治山対策&木材産業を担う森林組合を視察!

～県産木材をもっと利活用しましょう!～

日本の国土は約7割が森林ですが、その森林造成を通じて、木材供給のほか国土保全、水資源涵養を行っているのが森林組合であり、県内には20組合ありますが、その中で一番規模の大きく、建築等基礎資材としての木材製材の他に、各種製品を創り出して6次化にも取り組んでいる天竜森林組合を視察してきました。

社会・経済環境や建築資材の変化、人口減少の中で、70年～100年スパンで考えていかなければいけない森林管理やオーナーの方々の投資(費用負担)の難しさを再認識しましたが、静岡県の特徴的事業であり、森林保全の観点からも次世代に継承していくことが必要。今後、ICT技術の導入などによるコスト低減は当然ながら、建築資材として、また生活関連商品としての6次化製品のすばらしさを発信し、県民の共感を得るように努めていきたいと思います。

ちなみに、写真にある勉強机&椅子は、浜松市の小学校で採用されているもの。木製滑り台などは、是非県内の幼稚園、保育園に採用頂きたいと思います。



県民の皆様の様々な取り組みやご意見、ご要望を是非お聞かせ下さい。
豊かな県政発展のために、どんどん行動して参ります!

加藤 元章プロフィール 昭和38年11月9日 旧原町生まれ

- 静岡県立富士高等学校卒業
- 早稲田大学 政治経済学部卒業
- 三菱自動車工業(株)東京本社勤務(商品企画マネージャー)
- H15 沼津市議会議員初当選、以降、4期連続当選
- 各常任委員会 委員長歴任、第94代副議長
- H30 沼津市長選挙挑戦
- H31 静岡県議会選挙初当選、自民改革会議所属

加藤もとあき事務所

TEL 055-962-3190

FAX 055-960-9720

〒410-0036

沼津市平町 24-4-902

E-mail : motoaki-kato@npo-stds.com

HP : <http://www.motoaki-kato.net>

